様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

# 事業者行動(<del>計画·変更計画·</del>報告)書

2024(令和6)年7月29日

(宛先) 滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 滋賀県甲賀市甲賀町鳥居野121-15

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名) 大原薬品工業株式会社 (共享取締犯社長・大原・諸司

代表取締役社長 大原 誠司 第25条第3項 第25条第4項

滋賀県CO2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第<del>27条第1項 \* 第27条第2項において準用する同条例</del> 第26条第1項

第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

<del>第25条第4項</del>

の規定に基づき、

- <del>事業者行動計画を 策定</del> 事業者行動報告書を作成

<del>(変更)</del>

したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称およ び代表者の氏名)	大原薬品工業株式会社 代表取締役社長 大原 誠司
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事 務所の所在地)	滋賀県甲賀市甲賀町鳥居野121-15

1 事業所の概要

<del>· Tan Max</del>											
事業所の名称	大原薬品工	大原薬品工業株式会社 市場工場									
事業所の所在地	滋賀県甲賀	茲賀県甲賀市甲賀町大原市場3番地									
主たる事業		本標準産業分類 細分類番号 1 6 5 2 <u>※ 産業分類・細分類名称を記載</u> 医薬品製剤製造業									
事業の概要	オーファン	オーファンドラッグ、ジェネリック医薬品の研究及び製造									
従業員の数	6	0		Т	操	業時間		8 (8:30~ 17:30)	時間	引/日	
	図 原油換算 図 業者	エネル	ギー使	用量	が、年間	1,500‡[	コリットル	以上の事業所	を県内に有る	する事	
該当する事業者 の要件								炭素以外の温室 に有する事業者		量が、	
	□ 任意提出	事業者	-								
主要な設備	ボイラ	6	台	熱	源設備	18	台	照明設備	4923	台	
工女'及议训	コンプレッサ	6	台	空気	記調和設 備	17	台	その他			

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和5 (2023)	年度	報告対象年度	令和5	年度
	終了 年度	令和9 (2027)	年度		(2023)	十尺

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況) 別添のとおり

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

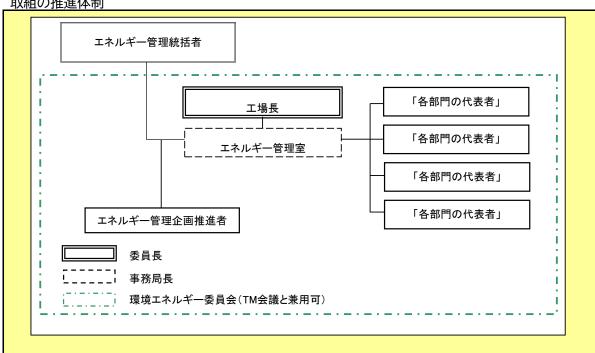
1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

### 基本方針

- 1) エネルギー使用機器の使用状況を把握し、かつこれらに関するエネルギーの浪費を未然に 防止する。また、エネルギーを消費する設備の運転および保守、点検などに関して、管理標 準を設定しこれに準拠した管理を行う。
- 2) エネルギー管理体制の充実を図るとともに、設備利用の省エネルギーに関する意識の啓発に 努める。
- 3) 適切な執務環境の維持に努め、業務の性質および規模に対して適切に運用する。
- 4) 継続的な改善および職場環境の維持改善に関して配慮する。
- 5) 関連する法規制の方針に則していること。

(エネルギー管理標準(基本規定) 第4版 6基本方針より抜粋)

2 取組の推進体制



- 3<u>これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組</u>
  - エネルギー使用量削減を目的に下記事項について取組みを実施した。
  - (1)空調機設備の設定温度見直し 冷凍機設備の電気使用量削減及びボイラー設備の燃料費削減
  - (2)一部エリアのみ非生産時は空調機設備の設定風量を変更 INVにて周波数を調整することで低負荷運転とし、電気使用量を削減

### 4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

		実施計画		実績報告
	取組項目	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	A重油ボイラ(2/4台)→LPG化の検討	2024年(R6)~ 2025年(R7)	継続実施中
2	設備導入	2025年度屋上チラー更新予定	2025年(R7)~ 2026年(R8)	継続実施中
3	設備導入	各プロジェクト工事に併せて高効率機器へ更新	2024年(R6)~ 2027年(R9)	継続実施中
4	設備導入	1号棟4·5Fの照明LED化(実施)	2023年(R5)~ 2024年(R6)	2023年度実施完了
5	設備導入	コンプレッサー能力(効率)アップ	2024年(R6)~ 2025年(R7)	2024年度11月頃完 了予定

(2) エネルギー起源CO2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果	実施計画		実績報告
	ガスの種類	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

上記(1)の取組み等により、5年度間でCO2排出量原単位を年平均 1.0%以上削減することを目標とする。

CO2排出量原単位 =

市場工場 CO2排出量実績(t-CO2/年)」/ (空調稼働時間(h·㎡)×生産数量(億錠))

なお、5年度間の推移をみるために、CO2排出係数は2022年度 実績報告時に使用した数値を固定値として試算する。 (CO2排出係数(基礎排出係数):0.000299t-CO2/kWh)

ただし、毎年度提出する事業者行動報告書に記載の「温室効果ガス排 出量等の実績」については、該当年度のCO2排出係数を採用し、報告 することとする。

| 目標の進捗に対する自己評価 | 1標の進捗に対する自己評価 | 【2023年度実績報告】 | 計画期間のうち初年度報告とな | る今回、比較対象がないため目 | 標に対する評価はできないが、

る今回、比較対象がないため目標に対する評価はできないが、 参考値として、自主的に集約していたデータを用いて評価すると、下記のとおりであった。

#### (参考)

- ・前年度比エネルギー使用量:96.8% ・CO2排出量:92.6%(係数固定) ・空調稼働時間:139.2%
- ·生産数量:157.2%

したがって、CO2排出量原単位は 42.3%となり、目標であるCO2排 出量原単位1.0%以上削減に対する 評価としては大幅に達成できた。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

温至効未刀入排出重寺の美領 ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・										
	計画開始年 度前年度の			実績報告						
	実績	2023(R5) 年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度				
原油換算エネルギー 使用量 kL	2,101	1,869								
		ı	ı	ı						
温室効果ガス 総排出量 t- <sup>CO2</sup>	3,556	3,667								
エネルギー起源 t- CO <sub>2</sub> co <sub>2</sub>	3,556	3,667								
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub> t-										
CH <sub>4</sub> t-CO <sub>2</sub>										
N <sub>2</sub> O t-CO <sub>2</sub>										
HFCs t-CO <sub>2</sub>										
PFCs t-CO <sub>2</sub>										
SF <sub>6</sub> t-CO <sub>2</sub>										
NF <sub>3</sub> t- <sub>CO<sub>2</sub></sub>										
エネルギー等原単位の推移	0.00764	0.00323								

5 1	再生可能エネルギー	-等の利用に関	する取組
-----	-----------	---------	------

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等 ■ 計画最終年度までの取組の内容等

	取終中度よびの収組の内谷寺		
	実施計画	実績報告	
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 甲長	期的な取組の内容等
	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

	太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
	太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他()	kW
١	再エネ設備を効 率的に利用す る設備の導入 実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度	実績報告							
		前年度の実績	2023(R5) 年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度			
再エネ電気設 備での発電量	kWh	_	1							
上記のうち 自家消費量	kWh	_	1							

## 7 その他の $CO_2$ ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

/ <u>阿正区界田</u> // <u>———</u>	単	計画開始年度	1// PI = 1/1	. 12		実統	績報告				
項目	位	前年度の実績	2023(R5) 年度	(	)年度	(	)年度	(	)年度	(	)年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	3,623									
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>	3,623									
【調整後排出係数】	kg- CO2 /kWh	0.311	0.434								
特記事項	特記事項 ・ 令和4年度か				契約して	いる電	力会社の	排出係	系数が上昇	すした。	

(2) クレジット等購入

۰.												
	-E-D	単	計画開始年度	実績報告								
	項目	· 位	前年度の実績	2023(R5) 年度	(	)年度	(	)年度	(	)年度	(	)年度
	グリーン証書の購	t-CO <sub>2</sub>		1								
	人											
	クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>		_								
	特記事項											

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

<u> </u>	世勤(田武 G C ) (4) (5) (5) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7										
		実施計画									
	取組項目	取組の内容	実施スケ ジュール	実績報告							
1	通勤	電車通勤者への交通費満額支給	2023年~ 2027年	予定通り実施							
2	通勤	電車通勤者への駅からのシャトルバス	2023年~ 2027年	予定通り実施							
3											

(4) 業務で使用する車輌の脱炭素化の取組

۲,												
			計画開始年 度前年度の	実績報告								
			保有台数	2023(R5) 年度	(	)年度	(	)年度	(	)年度	(	)年度
	保有車輌の数	台	2	5								
	上記のつら 次世代自動車等の 数	台	0	0								
特記事項												

(5) その他のCO2ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

_	17 1017 002					
		実施計画				
	取組項目	取組内容	実施 スケジュール	実績報告		
1	環境マネジメ ントシステム (EMS)	社員教育の一環として環境問題やエネルギーに対して理解を深めてもらうために研修会を実施する。(1回/年)	2023年~ 2027年	継続実施中		
2	3R	廃棄物の分別、再利用化を促進し、最終処分率の低減を 図る。	2023年~ 2027年	継続実施中		
3	3R	重要書類を除き、可能な限り裏紙を使用して資源の削減を図る。	2023年~ 2027年	2023年11月〜中止 (発行管理や情報セキュリ ティーの観点より)		
4	その他	エアー・蒸気漏れ等を初期段階で発見し修繕することで、不要なエネルギーロスを最小限に留める。	2023年~ 2027年	継続実施中		
5	環境マネジメ ントシステム (EMS)	月別の電力量及び蒸気量等を見える化する。	2023年~ 2027年	継続実施中		